竹原市シルバー人材センターだより４月号

★現在募集中の就業情報★

1. 剪定（初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です）
2. 草刈り希望の方
3. 草とり希望の方
4. 高齢者施設の下膳･片付け･洗濯たたみ等(女性･ハートフル)･･･夕方 3H
5. 高齢者施設のシーツ交換･洗濯たたみ等(女性･ハートフル)･･･16：00 ～ 19：00　3H
6. 食器洗い･･･9：00 ～ 15：00 ぐらい（土･日･祝 可能な方）

興味があり、やってみたいと思われる仕事があれば説明しますので、
遠慮なく事務局まで連絡下さい。

事務局からのお知らせ

◎今年度(令和５年度)の年会費（ 2,000 円 ）の受付をしております。
早目の納入をお願いいたします。
お近くにお寄りの際、事務所までぜひお願いいたします。

◎今年度の定時総会は、５月 26 日（金）13：00 から、
グリーンスカイホテル竹原で開催します。
議案書･委任状をお送りしますので、同封のハガキの出欠に○印をつけて、
欠席される場合は、必ずハガキの「委任状」に署名･捺印の上、
５月 19 日（金）までに返送してください。

◎4 月分の配分金の振込みは、５月 18 日（木）になります。

◎会員募集しています！周りの方へ声掛け･ご紹介をお願いします。

総会当日にお楽しみ抽選会は実施いたしません。
事務所に“当選番号”を張り出しますので、５月 29 日（月）以降に
議案書に付いている抽選券を、事務所までご持参ください。

やってみよう　寝る前ストレッチ

- 手足ぶらぶら

あお向けになり両手両足を上げて、
1～2 分小刻みに揺らします。
手足の毛細血管を流れる血液が心臓に
戻りやすくなり、血液循環がよくなって、
疲労物質や老廃物の排出が促されます。

- 猫ののび

四つん這いになって両手を前方に伸ばし、
胸を床に近づけて、肩から背中を弓なりに
しっかり伸ばします。
日中、姿勢を維持するために負担がかかり
続けた背中をリフレッシュさせましょう。

台湾風卵焼き

たんぱく質とカルシウムで体づくり

台湾の卵焼きは切り干し大根が入っていて、
しっかりした食感があるのが特徴。大根を
乾燥させることで甘みが増した切り干し大根
には、うま味と栄養価が凝縮しています。
切り干し大根入りの卵焼きは、たんぱく質、
食物繊維、カルシウム、カリウムが摂取でき、
手軽で栄養価も高い、体づくりにおすすめの
一品です。

材料（2～3 人分）

- 卵・・・・・・・・・・・・・3 個
- 切り干し大根・・・15g
- 干し椎茸・・・・・・・1 個
- オイスターソース・・・小さじ 1
- しょうゆ・・・・・・・・・・・小さじ 1
- みりん・・・・・・・・・・・・・小さじ 1
- コショウ・・・少々
- ゴマ油・・・・・大さじ 1.5

作り方

① 切り干し大根は軽く洗って 5 分ほど水に浸けて戻し、水気を絞って 2 cmに切る。
② 干し椎茸も水で戻して 1 cm角くらいに切る。
③ フライパンにゴマ油を大さじ 1/2 入れて切り干し大根と椎茸を炒め、
オイスターソース、しょうゆ、みりん、コショウで調味し、
水分がなくなるくらいまで炒める。
④ ボウルに卵を溶きほぐし、③を加え混ぜる。
⑤ フライパンをきれいにしてゴマ油大さじ 1 を熱し、④を流し入れ、
両面にしっかり焼き色がつくまで焼く。

1	7						6	2
4		2		9		8		7
8								3
				8				
3	2		5		7		8	4
		4				5		
			7	6	1			
	4						7	
		7	9	2	4	3		

		3	2		7	9		
		9				3		
	2			3			7	
3	7			6			4	9
2			3		5			8
	8		9		1		2	
				5				
	5			9			3	
		4	7		3	6		

問題を読んでマスにあてはまる文字を入れましょう。A～D をつなげてできる言葉は？

1 B	2	3		4	5
6			7		
		8			C
	9 A				
10		11		12	
13 D				14	

A	B	C	D

答えをご持参の方粗品進呈
５ 月 ２２ 日以降にご持参ください
提出･受取りは会員さん本人に限ります

タテのカギ

1. 巻貝の殻の線のように旋回した筋
2. 出る〇〇は打たれる
3. 付き添って守ること
5. 干潮と満潮
7. 母国を遠く離れたよその土地。外国
9. 花をいけること
10. 日本の主食といえば
11. 70 歳のこと
12. てきや

ヨコのカギ

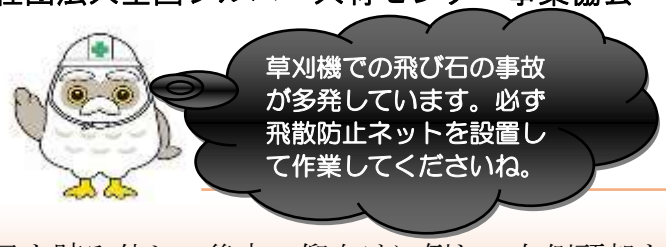
1. 一人の演者が滑稽な会話のやり取りをする寄席芸能
4. 手ごたえがないこと。〇〇に釘
6. えり抜かれていて鋭いこと
8. 利を得るのに抜け目なく素早いさま。〇〇〇〇の目を抜く
10. 人の好い老人
13. 農作物などで、不必要な芽を摘除すること
14. 問題にしない。〇〇にもかけない

名　前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

№１９１　　２０２３年４月

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



★ 今月の事故 ★

１．事故の概要（就業中）

剪定作業中、三脚から足を踏み外し、後方へ仰向けに倒れ、左側頭部をコンクリートの地面で強打して死亡した。

２．事故の原因

一人作業であったため原因は憶測。ヘルメットが未着用で三脚を樹木に斜め掛けにしており、不適正な使用でステップ部分が不安定な状態であった。

３．事故発生後の対応及び再発防止策

【センター】

●事故発生を受けて、安全適正就業委員会を臨時に開催し、事故を報告した。

●剪定職群及び支部の屋外作業会員２５２人へ「死亡事故発生のお知らせ」を郵送し、文書による注意喚起を実施した。

【連合本部】

●事故の概要について県下全センターへ周知（事務局長会議/安全・適正就業担当者会議）

●安全・適正就業に関する規定等の整備状況について再点検を要請した。

４．全シ協から

令和４年度の最終の報告で何度と繰り返されている剪定作業での痛ましい事故を取り上げましたが、**令和５年度から１件もこのような事故が起きないようにするために、以下の基本を徹底していただくようお願いいたします。**

今回の事故は、最も欠かせない安全帽（ヘルメット）を装着していなかったこと、墜落制止用器具（安全帯）を装着していなかったこと、一人での作業のため、発見が遅れた可能性もあり、不安全な状態で作業を実施してしまったことが原因と考えられます。

絶対に守るべきは、保護帽（ヘルメット）の装着です。
また、脚立・足場板を使用する場合は、墜落制止用器具（安全帯）も必須です。
さらに、作業は、一人で行わないでください。
墜落制止用器具（安全帯）の装着が難しい場合や地面同様の環境が確保できない場合は、請け負うことは、しないでください。また、保護帽（ヘルメット）を被らいない場合は、就業させない強い対応を検討してください。

事故防止対策で、例えば、安全作業チェックシートなどで剪定就業会員に保護帽、墜落制止用器具（安全帯）の有無、三脚脚立の固定状態などにチェックを入れ事務局に提出することなどを行い、会員さんに「自分の安全は自分で守る」という意識を徹底してもらうこと、さらに、職員や安全委員による安全パトロール（抜き打ち）を行い、保護帽、墜落制止用器具（安全帯）の装着など、チェック項目を決め会員さんに安全就業の意識を高めてもらうことが重要です。このような事故を起こさないように、センターとして今一度会員さんが安全、安心して就業できる環境について話し合い、作業別安全基準の見直しなど再発防止の徹底をお願いいたします。

また、令和５年４月１日より自転車に乗る全ての人にヘルメット着用が努力義務化されました。剪定作業、草刈作業等同様、**頭部を守り**、安全就業に努めていただきますようお願いいたします。

令和５年３月（令和４年度）事故速報

（1） 重 篤 事 故

３月は、４件の重篤事故の報告がありました。
３月までの累計で比較してみると、令和３年度の３９件と比して令和４年度は２９件と１０件減少しています。また、就業中・就業途上別でみると、就業中では令和３年度の２７件と比して８件の減少となっており、就業途上については、令和３年度の１２件と比して２件の減少となっています。

３月報告分までの累計

令和4年度累計	就業中・就業途上	件数	内訳				令和３年度同月累計					
			事故の程度		性別			計	事故の程度		性別	
			死亡	入院	男性	女性			死亡	入院	男性	女性
	就業中	19(2)	15(2)	4(0)	15(1)	4(1)	就業中	27	20	7	27	0
	就業途上	10(3)	5(2)	5(1)	8(3)	2(0)	就業途上	12	6	6	8	4
	計	29(4)	20(4)	9(1)	23(4)	6(1)	計	39	26	13	35	4

（　　）は、当月分報告分

３月報告分内容

No.	性 別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
25	男 75 歳	就業 （死亡）	剪定作業中、三脚から足を踏み外し、後方へ仰向けに倒れ、左側頭部をコンクリートの地面に強打し死亡した。	×	×	—
26	男 84 歳	途上 （死亡）	自転車で向かっていたところ直線道路にて背後から車に轢かれ、頬骨骨折など。４か月後、体調が急変し亡くなられた。	—	—	自転車
27	男 74 歳	途上 （入院）	早朝に自宅を出て就業先に向かうため、徒歩で自宅近くの交差点を横断中、右から向かってきた軽車両に跳ねられ両足外傷性気胸、右頭骨骨幹部骨折など。	—	—	徒歩
28	男 79 歳	途上 （死亡）	剪定作業の合間に休憩を取り、作業を開始しようと立ち上がったところ転倒した。救急車を断り自分で運転して帰宅したが、玄関で横たわっており救急車を要請したが頭蓋骨骨折による脳ヘルニアにより死亡した。	—	—	徒歩
29	女 78 歳	就業 （死亡）	脚立を借り玄関のガラス戸の拭き掃除中、転落、転倒したと思われる。純的心損傷による心タンポナーデで死亡した。	—	—	—

（２）１ヶ月～６ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

３月は、就業中の事故２４件、就業途上の事故８件と、合計３２件であり、昨年度同月の１７件と比して１５件の減少となっています。また、男女別では、男性は９件の増加となっており、女性は６件の減少となっています。３月までの累計で比較してみると、昨年度の２６２件と比して、本年度は２４８件と１４件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は１８９件で５件の減少となっており、就業途上は５９件で９件の減少となっています。男女別では、男性は１９件の減少となっており、女性は５件の増加となっています。

令和4年度2月分

	仕事の内容		事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢(歳)	
			２月	累計	２月	累計	２月	累計	２月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等		7(4)	60(68)	7(4)	60(68)	0(0)	0(0)	79	76
	除草作業		2(1)	28(40)	2(0)	25(34)	0(1)	3(6)	70	76
	屋内・屋外清掃作業		4(5)	40(34)	0(1)	12(11)	4(4)	28(23)	74	77
	その他		2(4)	37(41)	1(3)	26(30)	1(1)	11(11)	85	77
	計		15(14)	165(183)	10(8)	123(143)	5(6)	42(40)	77	76
就業途上	交通手段	徒歩	0(5)	17(20)	0(0)	2(5)	0(5)	15(15)	—	75
		自転車	1(3)	26(25)	1(2)	14(11)	0(1)	12(14)	67	77
		バイク	0(0)	5(10)	0(0)	2(6)	0(0)	3(4)	—	71
		自動車	0(1)	3(9)	0(0)	1(6)	0(1)	2(3)	—	73
		計	1(9)	51(64)	1(2)	19(28)	0(7)	32(36)	67	76
合　計			16(23)	216(247)	11(10)	142(171)	5(13)	74(76)	77	76

（　）は令和３年度同月の発生件数

編　集　後　記

新型コロナウィルス感染症は来月２類から５類へと引き下げられますが、最近、また感染者数は増大とのこと、これから罹った場合はどうすればいいのかわからないまま時が経っています。今月は昨年度の事故状況を集計する月です。ここ３年余り会議等色々な場面で安全就業の徹底をお願いしてきた効果がやっと表れてきたのか、重篤事故の発生件数は 29 件となり、過去最低だった平成 28 年度の 28 件には及ばなかったものの、２番目に少なかった平成 27 年度と同数になりました。言い続けたことがやっと会員の皆様にも浸透し、ここまで減らせたことは嬉しいことですが、まだゼロになったわけではありません。相変わらず事故の多くは屋外作業で発生し、保護帽さえ被っていれば…というケースも散見されます。毎年申し上げていますが、シルバー事業において最も重要なことは、安全な就業環境の中で会員のみなさまが明るく楽しく、安心して働けることです。事故は一瞬の気の緩みから起こります。せっかくの楽しい就業の場を、最も大切な命を、事故により失うことがないよう会員のみなさま一人ひとりが日々気をつけて、長く生きがいをもって働き続けることができますよう、このニュースが一助になれば幸いです。今年度は重篤事故件数過去最低を下回る重篤事故 27 件以下を目標にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。（松山）

こちらの編集後記でも日々の「挨拶」や周りへの「声がけ」が重要であることを何度か取り上げていますが、当協会でも元気のよい若い職員が「おはようございます」「お先に失礼します」と大きな声で清々しく気持ちよく挨拶をしているのを聞いてハッとしています。私自身、いつからか声も小さくなり、挨拶も疎かになってきているかもしれません。特定の人としかコミュニケーションが図れていないと自覚しています。やはりこれだけＩＴが普及すると社内外ともに対面で話し合う機会も減り、リモート会議やメール・SNS で完結できてしまいます。毎日の「おはよう」の一言挨拶を「二言挨拶」に変えることで、コミュニケーション不足が改善するかも知れないという記事を見ました。二言挨拶とは「おはよう」とか「こんばんは」のごく普通の一言の後に、「元気ですか」とか「天気がいいですね」など、もう一言付け加えて挨拶をするというものでした。「昨日はどうだった？」など二言目を足すだけで、普段の何気ない挨拶から会話に繋がり、その小さなコミュニケーションにより人間同士の心と心が開くきっかけになると思います。二言挨拶には「挨拶の言葉を一言増やす」「相手の名前+挨拶の言葉」「笑顔+挨拶の言葉」「作業の手を止めて+挨拶の言葉」「片手をあげて+挨拶の言葉」「目線+挨拶の言葉」など色々なパターンがあります。ごく普通の事だと思うのですが、現代はこれを意識しないとできない時代になってしまいました。怒りの感情は抑えるのが好ましいのですが、全ての表現を封じる必要はありません。マスクも外す機会も増えてきますので、皆さんも笑顔で実践してみませんか。このような小さな心掛けが人間関係の潤滑油になるものではないかと思います。しかし、話過ぎて仕事が手につかなくならないようにご注意くださいね。（笑）（髙木）